

山口情報芸術センター[YCAM] 滞在制作/作品展示(YCAM委嘱作品)

ひらかわ のりとし  
平川典俊 新作インスタレーション

## 「Beyond the sunbeam through trees — 木漏れ日の向こうに」

(ビヨンド・ザ・サンビーム・スルー・ツリーズ)

2011年5月28日(土) – 8月21日(日) 10:00 – 19:00 ※火曜休館

山口情報芸術センター[YCAM] スタジオB 入場無料

## インスタレーションとパフォーマンスを融合する、新たな表現への試み ジャンルの異なる国際的なアーティストがコラボレーションし、新作を制作/発表

山口情報芸術センター[YCAM] では、映像・音響・身体表現が融合した、新たな芸術表現の創造を目指し、現代美術家、平川典俊(ひらかわ・のりとし)による新作インスタレーションを制作/発表します。

本作は、人間の意識や根源的なエネルギーの発露を、光・映像・音響として表現するインスタレーション作品です。ひとりの女性の繊細な感情や振る舞いから発想された、会場内の光(木漏れ日)、女性を描写した映像、音響表現は、観客の参加によって作品内に多様なインタラクションを生み出します。

光のダイナミクスとともに、本作の特徴的な表現となる映像・音響の制作には、作曲家/ミュージシャンのミハエル・ローター、ダンサーの安藤洋子が参加。本作が初の顔合わせとなる3人の国際的なアーティストが、YCAMの滞在制作で互いの表現を刺激し合い、待望の新作を発表します。



新作参考写真

■ 内覧会 5月28日(土) 13:00 - 14:30  
※同時開催、安藤洋子 新作インスタレーションと併せて発表。

■ オープニングイベント  
YCAM ライブコンサート・シリーズ「sound tectonics #9」  
出演: ミハエル・ローター、ジム・オルーク、Y.Sunahara  
5月29日(日) 14:30 開演 ※30分前開場 ※要チケット

## 同時開催

YCAM 滞在制作/企画展(YCAM委嘱作品)  
安藤洋子 新作インスタレーション  
「Reacting Space for Dividual Behavior」  
(リアクティング・スペース・フォー・ディビジュアル・ビヘイビア)  
2011年5月28日(土) – 8月21日(日) 10:00 - 19:00  
山口情報芸術センター[YCAM] ホワイエ 入場無料

ぜひこの機会に、取材や記事掲載ご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

お問い合わせ 山口情報芸術センター[YCAM] 広報担当: 廣田  
TEL: 083-901-2222 FAX: 083-901-2216 e-mail: information@ycam.jp  
〒753-0075 山口県山口市巾着町7-7 <http://www.ycam.jp/>  
取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。

## 光・映像・音響、身体表現によって現出する、動きとエネルギー

80年代より、幅広い作風と社会への挑発を含む刺激的な表現を通じ、人間の自由意志に対する個人の認識を問い続ける現代美術家、平川典俊。待望の新作発表となる本展では、これまでYCAMが制作／発表してきたオーディオビジュアル・インスタレーションの方法論を飛躍させ、光・映像・音響によるインスタレーションと、パフォーマンスが融合した実験的な表現に取り組みます。

新作では、ひとりの女性の葛藤から生まれる感情や動きを、メディアテクノロジーを用いた光・映像・音響の多様なインタラクションによって表現します。観客の参加によって稼働する本作のシステムを通じ、観客の意識とエネルギーは、作品を現出させるシステムの循環と、女性の意識の現れを促します。観客は、次第に移り変わる時間や空間を体感しながら、動きを生み出す自らのエネルギーを知覚します。



### 作家プロフィール



#### 平川典俊 | Noritoshi Hirakawa

##### 現代美術家

1960年福岡県生まれ。1988年にアーティスト活動を開始し、1993年よりニューヨーク在住。写真やビデオ、サウンド、テキストを用いた作品のほか、インスタレーション、映像、演劇、パフォーマンス、サウンドなど様々なメディアを複合した作品を発表。身体性やジェンダーセクシュアリティ、メディア、宗教、現代美術そのものなど、社会制度がもたらす不自由さやタブーに焦点を当てた挑発的な表現を通じ、個人の認識を問い続ける作品を継続的に発表している。これまでに、ポンピドゥーセンター（フランス）、フランクフルト近代美術館（ドイツ）、ニューヨークPS1（アメリカ）、東京都現代美術館、台北市美術館（台湾）をはじめ、世界各地の300回を超える展覧会で作品を発表。また、2008年にはアメリカを代表するコンセプチュアルアーティスト、ローレンス・ウェイナーが監督した映像作品「ミルクの中に水が存在する」、2010年には映像作品「ダーティ・アイ」（フランス/アナ・サンダース・フィルム制作）のプロデューサーを務める。アーティスト、プロデューサーやキュレーションなどの活動を通じ、未来への文化の進化に向けた、人間の新たな認識や、知覚の領域の拡張、社会におけるシステムや制度を提案している。

[左奥] 平川典俊「Insearch of a Purple Heart」(2005, Salon94, ニューヨーク)

[左前] 平川典俊「NH Heimweh nach der Heimat」(1996, Theater Am Turm, フランクフルト)

## 国際的に活躍するミュージシャン、ダンサーが作品に参加

本作の音響制作には、ドイツの伝説的ロックグループ「NEU!」の創設メンバーで、近年、世界的に再評価を受ける作曲家／ミュージシャンのミハエル・ローターが参加します。さらに、ウィリアム・フォーサイス率いるザ・フォーサイス・カンパニーの中心的存在として活躍するダンサー、安藤洋子が映像出演。平川典俊とともに、世界の第一線で活動する3人のアーティストが、初のコラボレーションを通して、新たな表現形式を探求します。

### ミハエル・ローター | Michael Rother

photo: Katja Ruge

#### 作曲家／ミュージシャン

クラフトワークの初期メンバーとして活動後、1971年に「NEU!」を結成。作曲家、マルチプレイヤー（主にギター、キーボード、電子楽器）として、世界中で活躍し、現在のエレクトロ・ポップをはじめ、セックス・ピストルズ、デヴィッド・ボウイなどの、パンク、ニューウェイブのミュージシャンに大きな影響を与える。1973年には、クラスターのミュージシャンとバンド「ハルモニア」を結成。1976年以降、9枚のソロアルバムをリリース。これまでに、ブライアン・イーノやレッド・ホット・チリ・ペッパーズのジョン・フルシアンテ、ソニック・ユースなどと共演し、今なお、多くのバンドにインスピレーションを与え続けている。



## 平川典俊「Beyond the sunbeam through trees —木漏れ日の向こうに」

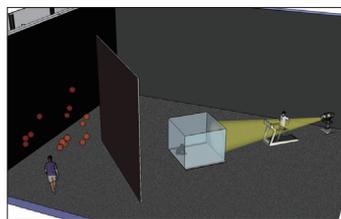
コラボレーティブ・アーティスト：ミハエル・ローター（作曲家/ミュージシャン）、安藤洋子（ダンサー）

2011 (YCAM委嘱作品) | インスタレーション

本作は、ギリシャ哲学における、あらゆる存在の基底となる原初的な概念〈ピュシス〉\*に言及し、根源的なエネルギーであるこの概念をもとに、複数の人間の意識が調律、感化し、人間の持つ肯定的な存在を、それぞれが内包していく作品です。インスタレーションは、孤立するひとりの人間、ひとりのミュージシャン、そして架空の人間（観客）が暗闇の中で希求する、ある未来への予感へ相互に影響を与え、循環を生む装置として機能します。

会場は、中継点に佇む孤立する人間の意識の変化、精神的なエネルギーの発露、その過程を表す、異なる表情をもった3つの空間に構成されます。人間が抱える内的な変化から発想された光のダイナミクスや映像、音響表現は、観客が参加することで動き出し、作品内に多様なインタラクションをつくり出します。観客というひとりの人間（他者）の存在により、暗闇のなかに光が放たれ、人間の意識が感化される。そして、徐々に明るさを増す光のインスタレーションのなかで、観客は、ひとつの力として自己の存在と向き合う。本作の体験を通し、観客は、人間が光を希求する志向、根源的なエネルギーへと導かれる意識の流れを実感します。

\*ピュシス：自然の意。physical, physicsの語源にあたるギリシャ語。ギリシャ哲学の最初の主題とされる。



会場の展示予定図(2011年4月)

### 【1】光とアクション— 観客の存在が、光に変換される

観客が、会場に設置されたトレッドミル（ランニングマシン）を歩行すると、目映いばかりの光が背面から投影され、観客の影が会場中央のキューブに映し出されます。同時に、キューブにも光が投射されます。

### 【2】光と映像— 女性の佇む空間と時間軸が現れる

光の投射とともに、佇む女性の映像がキューブ上に現れます。空間を投射する光（木漏れ日）の変化に伴い、キューブ上の4面のスクリーン映像が徐々に変化。意識と身体が次第に解放されていく女性の姿を、安藤洋子の身体表現によって描写します。

### 【3】光とサウンド— 観客の知覚と記憶に、深淵を生み出す

最奥の3つ目の空間では、無明の闇に、ミハエル・ローターのエレクトロニックギターのサウンドが響きます。サウンドの変化に呼応し、弱い光が空中に漂うように光り出します。マルチチャンネルスピーカによる音響は、キューブの映像とも連動しており、徐々に空間全体へと伝わっていきます。

## 展覧会オープニングを記念し、オーディオビジュアルコンサートを開催

本展のオープニングを記念し、YCAMの音響・映像設備と技術を最大限に生かし、メディアテクノロジーを駆使したサウンドアートを紹介するコンサートシリーズ「sound tectonics」を開催します。ミハエル・ローター（本展参加）の待望のソロ公演を中心に、ゲストにはジム・オルークとY.Sunahara（砂原良徳）が出演します。

### 出演者プロフィール

#### ジム・オルーク | Jim O'Rourke

10代後半にデレク・ベイラーと出会い、ギターの即興演奏を開始。実験的要素の強い作品を発表する一方で、マース・カニングラム舞踊団の音楽を担当。1999年、ソロアルバム「ユレイカ」を発表し、ソニック・ユースのメンバー兼音楽監督としても活動（2005年脱退）。2004年には、アルバム「Wilco / A Ghost Is Born」のプロデューサーとしてグラミー賞受賞。現代アメリカ音楽シーンを代表するクリエイターとして高く評価される。ヨーロッパの多数のアーティストをプロデュースするほか、日本文化への造詣も深く、くるりのプロデュース、ジャズサクソ奏者、坂田明や、映画監督、青山真治、若松孝二の作品評論などもおこなっている。



#### Y. Sunahara | 砂原良徳

1991年に電気グルーヴに加入し、1999年に脱退。ソロ活動では、アルバム「Crossover」（1995）、「TAKE OFF AND LANDING」、「THE SOUND OF '70s」（1998）、「LOVEBEAT」（2001）をリリース。このほか、楽曲プロデュースやCM音楽などを数多く手掛け、2009年には、映画「ノーボーイズ、ノークライ」のサウンドトラック「No Boys, No Cry Original Sound Track」をリリース。2010年にはくわいしわたり淳治&砂原良徳を結成し、相対性理論のやくしまるえつこをボーカリストに迎えてシングル「神様のいうとおり」、ソロ名義のシングル「subliminal」を、2011年には10年振りのオリジナルアルバム「liminal」をリリース。



## 開催概要

山口情報芸術センター[YCAM] 滞在制作/企画展(YCAM委嘱作品)

平川典俊 新作インスタレーション

## 「Beyond the sunbeam through trees — 木漏れ日の向こうに」

(ビヨンド・ザ・サンビーム・スルー・ツリーズ)

2011年5月28日(土) - 8月21日(日) 10:00 - 19:00

山口情報芸術センター [YCAM] スタジオB 入場無料

※火曜休館

http://bstt.ycam.jp/

主催：公益財団法人山口市文化振興財団

後援：山口市、山口市教育委員会

助成：公益財団法人朝日新聞文化財団

支援：平成23年度優れた劇場・音楽堂からの創造発信事業

協力：ワタリウム美術館、群馬県立近代美術館、WAKO WORKS OF ART、

Gallery HAM、NANZUKA UNDERGROUND、トモ・スズキ・ジャパン

機材協力：カラーキネティクス・ジャパン株式会社

技術協力：YCAM InterLab

企画制作：山口情報芸術センター [YCAM]

キュレーター：阿部一直(YCAM)

## 関連イベント

YCAMライブコンサート・シリーズ

sound tectonics #9 (サウンド・テクトニクス)

出演：ミヒヤエル・ローター、ジム・オルーク、Y.Sunahara

5月29日(日) 14:30開演(30分前開場) 会場：スタジオA

料金：[オールスタンディング]

前売 一般3,000円/any 会員・特別割引2,500円/25歳以下  
2,300円 当日 3,500円 ※当日は各種割引対象外

## 【チケットのお求め】

電話/窓口：山口市文化振興財団チケットインフォメーション

083-920-6111 (YCAM内/10:00-19:00 ※火曜休館・祝日の場合は翌日)

インターネット：<http://www.ycfc.or.jp/> (24時間受付 ※要事前登録)

セブンイレブン店頭：セブンコード010-452

■特別割引：シニア(65歳以上)、障がい者及び同行の介護者1名が対象。

■未就学児入場不可。

■託児サービス

対象：0才(6ヶ月)以上

託児時間：開演の30分前から終演30分後まで

料金：お子様1人につき500円、2人目以降は1人につき300円

申込方法：5月22日(日)までにチケットインフォメーションまでお申し込みください。

■車椅子席・補聴システム：事前にお問い合わせください。

## YCAMギャラリーツアー

6月4日(土)、5日(日)、11日(土)、12日(日)、25日(土)、26日(日)

7月2日(土)、3日(日)、9日(土)、10日(日)、16日(土)、

17日(日)、30日(土)、31日(日)

8月6日(土)、20日(土)

【会期中16回】各回14:00-15:00 参加無料

※安藤洋子新作インスタレーションと同時開催。

※各日開催までにYCAM1Fチケットインフォメーションまでお申し込みください。

## 関連展示

※平川典俊のこれまでの作品を上映/展示いたします。

会場：2Fギャラリー

平川典俊「BRAVO」(2011)、「FATMAN」(2011)、  
「Streams By The Wind - Spring Fever -」(2002)、  
「母は私、私は娘」(2002)

## 関連上映(YCAMシネマ)

## 新藤兼人監督作品上映

7月29日(金) - 31日(日) 会場：スタジオC

料金：一般1,300円/any会員・25歳以下・特別割引800円

「原爆の子」(1952年/100分/日本)

「第五福竜丸」(1959年/110分/日本)

「ある映画監督の生涯」(1975年/150分/日本)

## 平川典俊監督作品上映

8月10日(水) - 14日(日) 入場無料 会場：スタジオC

「Les temps de rien à Montpellier」(2001年/118分  
/フランス・アメリカ/デジタル上映)監督/脚本：平川典俊「最後の覚え書き：新藤兼人監督とベニチオ・デル・トー  
口との対談(仮)」(2011年/日本/デジタル上映)

企画監督/脚本：平川典俊、浦谷年良、ベニチオ・デル・トーロ